

# WebClass

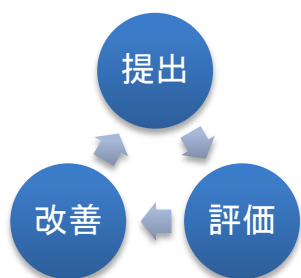
## e-ポートフォリオコンテナ

### ■ 「コンテナ」とは

eポートフォリオコンテナは、学習成果物と評価を管理するバインダーのような役目を果たします。課題やテーマ毎に作成されたコンテナの中で成果物と評価は紐づけられており、効率良く振り返りができるデザインとなっています。さらにコンテナには授業の目的・目標(ゴール)、評価軸となる「ルーブリック」を保管することができ、主観が入りやすい学生同士の相互評価においても客観的な評価を可能にしています。



### ■ 振り返りを誘発するシステムデザイン



学生は1つのコンテナに対して繰り返し学習成果物を提出することができます。これにより、ゴールの確認 → 成果物の提出 → 評価 → 振り返り → 再提出 → 再評価 → …を繰り返すことで、次の学習を行うための準備と学習基盤を構築することが出来ます。

### ■ 3種類の評価 (アセスメント)

eポートフォリオコンテナには「自己評価」「相互評価」「教師評価」の3種類の評価があります。また、評価結果を他人に見せる、見せないといった設定も可能で、学習者のレベルに合わせたeポートフォリオ活動が可能になります。



# ■ コンテナの準備方法

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 1：学習成果物の提出方法を決める                 | 2  |
| 2：目的に合った設定をする                    | 3  |
| 2-1 個人の学習成果物を先生だけが閲覧し、評価する       | 3  |
| 2-2 個人の学習成果物をコースメンバーで評価し合う       | 5  |
| 2-3 個人の学習成果物をグループのメンバーで評価し合う     | 7  |
| 2-4 グループ内で話し合って学習成果物をまとめ上げる      | 9  |
| 2-5 グループで作成した学習成果物をコースメンバーで評価し合う | 11 |
| 3：グループ編集の方法                      | 13 |

## 1：学習成果物の提出方法を決める

学習成果物の提出方法を最初に指定します。コンテナを作成し終わった後で変更する事はできません。

- ✚ 学生がファイルを指示して登録（コンテナに学習成果物をアップロードする）
  - ✚ テスト/アンケートに対応づける（テスト/アンケート教材に学習成果物をアップロードする）
- 次のような場合に使います。

- ・ 成果物に得点をつけて、成績一覧に反映したい場合
- ・ 既に提出されたレポートを相互評価の対象にしたい場合
- ・ 紙やメールで提出されるケースが想定される場合（先生が代理提出する必要がある場合）
- ・ レポートを一括で手元にダウンロードして保存したい場合

テスト/アンケート教材は、種別「レポート」で、レポート提出スタイルの設定の教材に限ります。コンテナを作成する前に、提出用のテスト/アンケート教材をご用意ください。

e ポートフォリオの >>新規作成をクリック



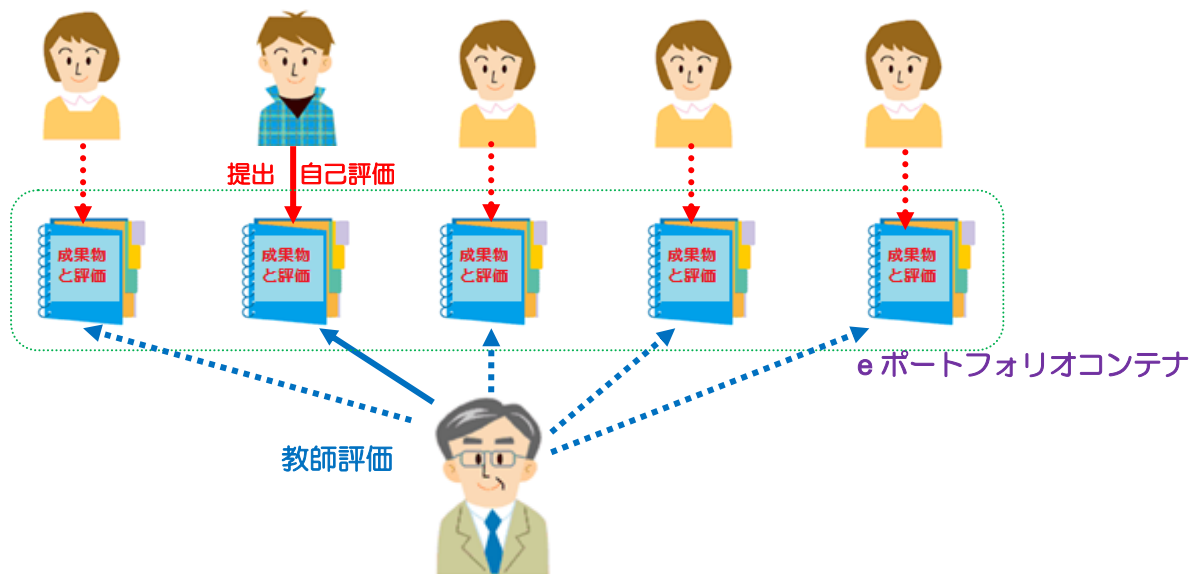
タイトルにコンテナ名を入力（必須）

学習成果物の提出方法を選択



## 2：目的に合った設定をする

### 2-1 個人の学習成果物を先生だけが閲覧し、評価する



学習スタイルで「標準」を選択

「次へ」をクリック



「学習成果物と評価を、提出した学生と教師のみに公開する」にチェックを入れる

自己評価や教師評価でルーブリックを使用する場合は、「ルーブリックを使用する」にチェックを入れてルーブリックを選択

「保存」ボタンをクリック

※「相互評価を行う」「評価を公開する」といった指定は無視されます。



## 学生の画面

The screenshot shows a web interface for an e-portfolio. At the top, there are navigation links: 「ログアウト」, 「メッセージ」, 「マイルレポート」, and 「ノート」. Below that, a breadcrumb trail reads 「> コースリスト > コースメニュー > eポートフォリオ・コンテナ」. The main header area includes 「eポートフォリオ・コンテナ」 and 「卒業研究レポート」. A sidebar on the left contains 「最終更新日 2014-07-25 11:55:10」 and 「評価対象 サンプル学生1」. The main content area is divided into several sections: 「説明」, 「学習成果物」 (containing a submission card for 「自己啓発における相互評価の役割」), 「ゴール」 (with 「卒業論文に必要な要件」), 「ルーブリック」 (with 「卒業評価基準」), 「自己評価」, and 「教師評価」 (with 「計 1 件」 and a list item 「16/29 全体の構成を確認しました。(高橋先生)」). Red callout boxes with white text and red borders point to specific elements: the first points to the evaluation target name, the second to the submission button, the third to the 'add' button, and the fourth to the 'show' button.

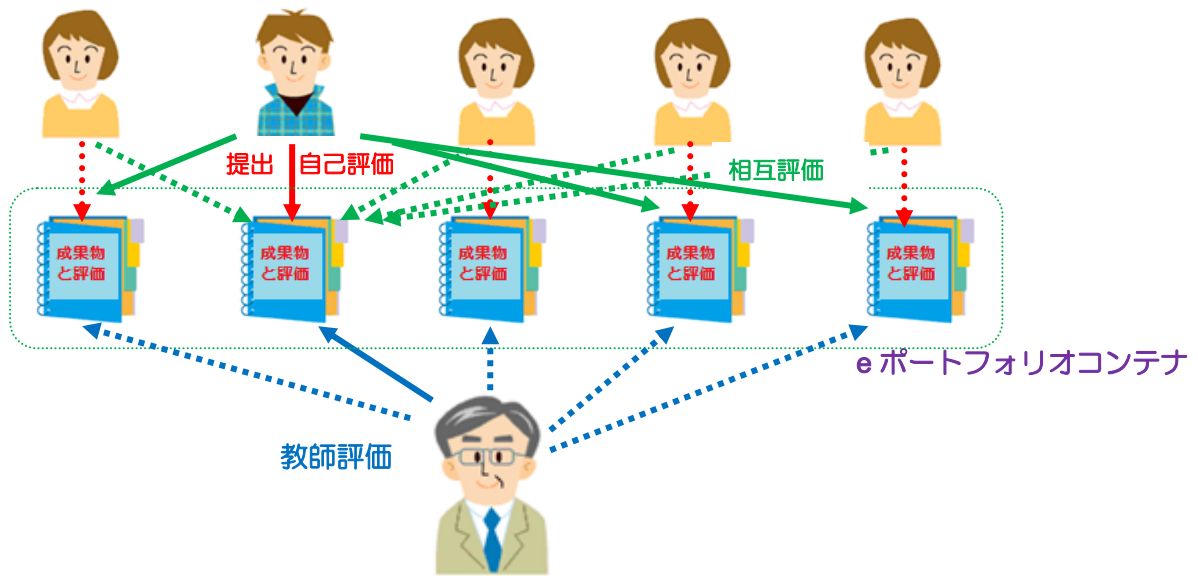
評価対象は自分自身です。

学習成果物を繰り返し「提出」できます。

自己評価を「追加」します。

対象を選択して「表示」ボタンをクリックすると、教師評価の内容を確認できます。

## 2-2 個人の学習成果物をコースメンバーで評価し合う



学習スタイルで「標準」を選択

「次へ」をクリック

自己評価・・・する

相互評価・・・する

教師評価をするかどうか

ループリックを使用するかどうか、評価を公開するかどうかを指定

「保存」ボタンをクリック

## 学生の画面

《評価対象が自分の場合》

評価対象は自分自身です。

学習成果物を繰り返し「提出」できます。

自己評価を「追加」します。

対象を選択して「表示」ボタンをクリックすると、相互評価や教師評価の内容を確認できます。

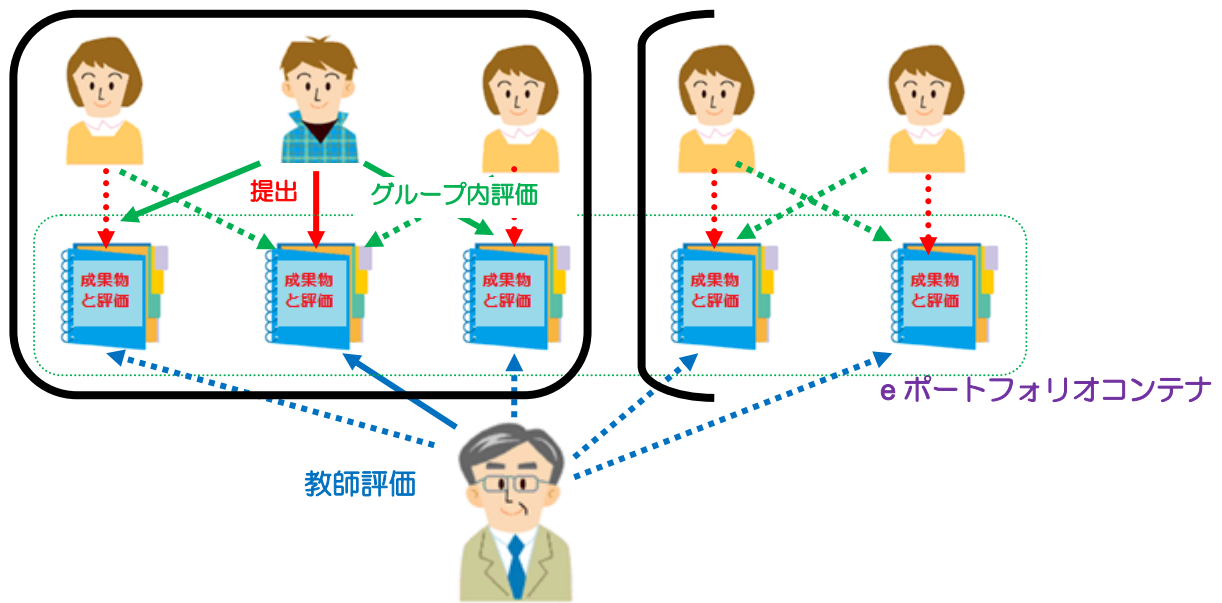
《評価対象が他学生の場合》

学生一覧の氏名をクリックすると評価対象が切り替わります。(文字列での検索が可能です)

提出されている学習成果物をダウンロードして確認します。

相互評価を「追加」します。

## 2-3 個人の学習成果物をグループのメンバーで評価し合う



学習スタイルで「グループ学習」を選択

「次へ」をクリック

「グループ編集」ボタンをクリック  
⇒ [グループ編集の方法](#) (P13)

「学習成果物と評価を、グループに所属する学生と教師のみに公開する」にチェックを入れる

グループ内相互評価や教師評価でループリックを使用する場合は、「ループリックを使用する」にチェックを入れてループリックを選択する

「保存」ボタンをクリック

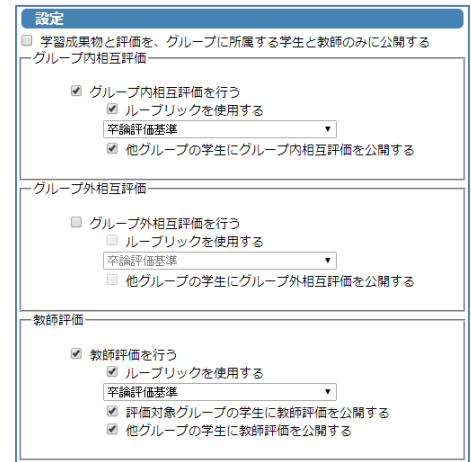
※「グループ外相互評価を行う」「評価を公開する」といった指定は無視されます。

- グループ外の学生が、評価はできないが学習成果物や評価を閲覧できるようにする方法

「学習成果物と評価を、グループに所属する学生と教師のみに公開する」のチェックをはずす

グループ内相互評価・・・する  
 他学生にグループ内相互評価を公開・・・する  
 教師評価・・・する  
 ルーブリックを使用するかどうか、を指定

「保存」ボタンをクリック



学生の画面

グループメンバーの学習成果物が同じ場所に提出されるので、ダウンロードして確認します。

評価対象は自分が所属しているグループです。

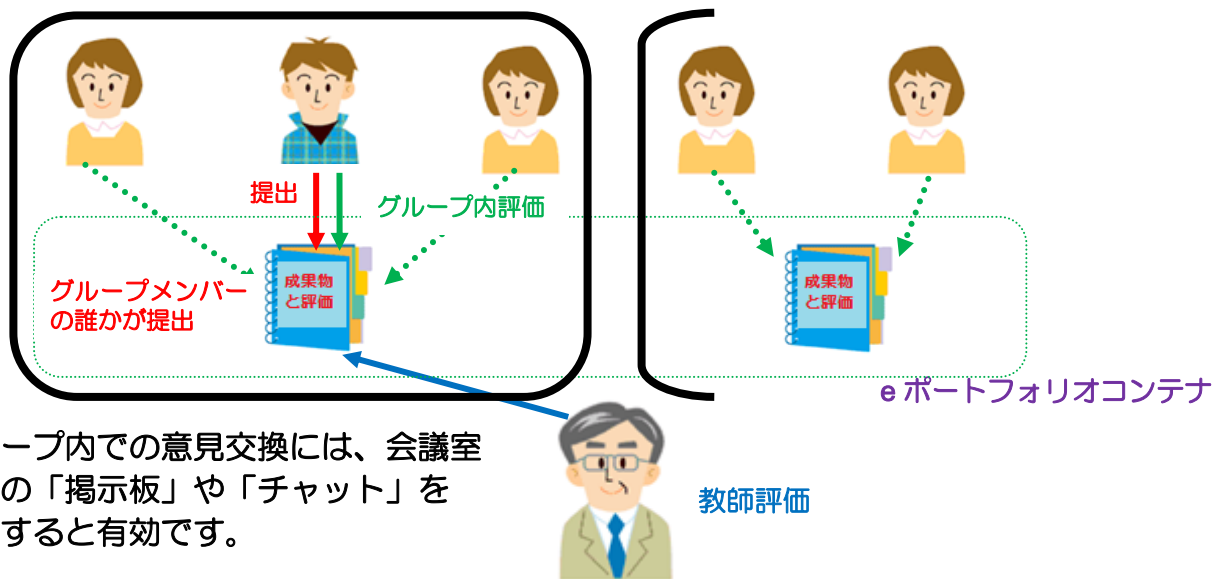
学習成果物を繰り返し「提出」できます。

グループのメンバーが自分の学習成果物に対して評価した内容を「表示」して確認します。

グループのメンバーが提出した学習成果物に対する評価を「追加」します。



## 2-4 グループ内で話し合っって学習成果物をまとめ上げる



学習スタイルで「グループ学習」を選択

「次へ」をクリック

「グループ編集」ボタンをクリック  
⇒ [グループ編集の方法](#) ⇒ P13

「学習成果物と評価を、グループに所属する学生と教師のみに公開する」にチェックを入れる

グループ内相互評価や教師評価でルーブリックを使用する場合は、「ルーブリックを使用する」にチェックを入れてルーブリックを選択する

「保存」ボタンをクリック

※「グループ外相互評価を行う」「評価を公開する」といった指定は無視されます。

学生の画面

The screenshot shows a web interface for an e-portfolio. The main content area is titled "eポートフォリオ・コンテンツ" and "卒業研究発表会レポート". It includes a "最終更新日" (Last updated) of 2014-07-25 12:01:30 and a "評価対象" (Evaluation target) list: テーマAのグループ, サンプル学生1, サンプル学生3, サンプル学生7, サンプル学生9. A "学習成果物" (Learning成果物) section shows a document titled "調査研究報告書案" (Investigation Research Report Draft) submitted by サンプル学生1 on 2014-07-24 16:48:47, with buttons for "削除" (Delete) and "提出" (Submit). A "ゴール" (Goal) section contains the text "卒業論文仕上げまでのステップ". Below this is a "グループ内相互評価" (Group Mutual Evaluation) section with "計 0 件" (Total 0 items) and buttons for "追加" (Add), "表示" (Show), and "削除" (Delete). The "教師評価" (Teacher Evaluation) section shows "計 1 件" (Total 1 item) with a list item: "24 16.49 テーマの設定に関して (高橋先生)".

グループメンバーが提出した学習成果物をダウンロードして確認します。

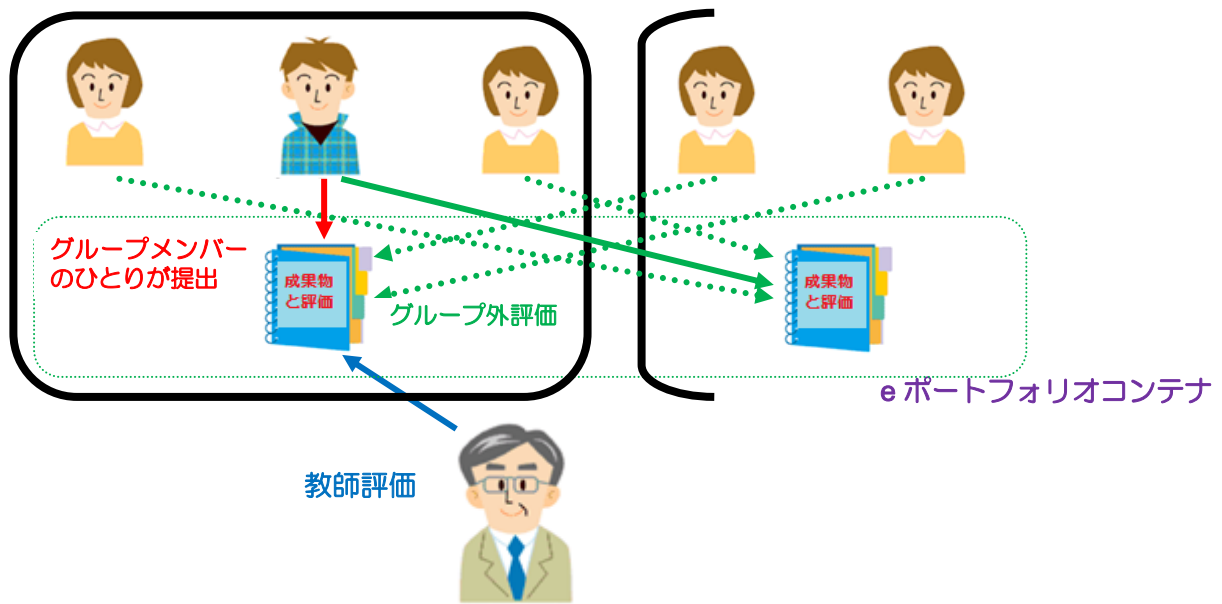
評価対象は自分が所属しているグループです。

学習成果物を繰り返し「提出」できます。

グループのメンバー評価した内容を「表示」して確認します。

提出された学習成果物に対する評価を「追加」します。

## 2-5 グループで作成した学習成果物をコースメンバーで評価し合う



学習スタイルで「グループ学習」を選択

「次へ」をクリック

eポートフォリオ・コンテナ

コンテナの新規作成:

タイトル

学習スタイル

グループ学習

学習成果物

学生がファイルを指示して登録

テスト/アンケートに対応する

「グループ編集」ボタンをクリック  
⇒ [グループ編集の方法](#) ⇒ P13

グループ外相互評価・・・する

教師評価をするかどうか  
ループリックを使用するかどうか、評価を公開するかどうかを指定

「保存」ボタンをクリック

コンテナの編集:

タイトル

説明

説明用ファイルをアップロードする

ファイルアップロード

ゴール

ループリック

グループ

グループ編集

設定

グループ内相互評価

グループ外相互評価

教師評価

## 学生の画面

《評価対象が、自分の所属するグループの場合》

評価対象は自分が所属しているグループです。

学習成果物を繰り返し「提出」できます。グループの誰が提出しても、グループの提出物となります。

対象を選択して「表示」ボタンをクリックすると、グループ外評価や教師評価の内容を確認できます。

《評価対象が、他のグループの場合》

学生一覧のグループ名をクリックすると評価対象が切り替わります。

提出されている学習成果物をダウンロードして確認します。

他グループの学習成果物に対する評価を「追加」します。

### 3：グループ編集の方法

「グループ追加」ボタンをグループの数だけクリックして、グループを作成

※作成したグループをクリックすると、グループ名を変更できます。  
※グループを選択して「↑」「↓」をクリックする事で表示順を変更できます。

一旦作成したグループを削除する事はできません。空のグループとして残ります。

グループを選択した状態で、学生を選択し「学生をグループに加える」ボタンをクリック

他のグループに移す場合は、一旦「学生をグループから外す」ボタンで未所属の学生にした後、移動先のグループに加えます。

「保存」ボタンをクリック

